

日銀神戸 支店長の 視点

別所昌樹氏



パンが好きです。兵庫はそんな私にとっても魅力的です。神戸、阪神間などにはドイツ、フランス、イギリスパンの名店が多くあります。菓子・総菜パンも個性豊かで、特にお気に入りのは丹波篠山の黒豆パンです。昨年の家計調査では、2人以上世帯のパンへの支出額は神戸市が全国1位。例年上位で、良いパンを育む土地柄を感じさせます。

さて、もう一つの主食コメは最近、値上がり著しいです。2月の全国消費者物価指数ではうるち米（コシヒカリを除く）の価格は前年比18割超の上昇で、指数全体の前年比を10・3%押し上げました。神戸市消費者物価指数でも生鮮食品を除く総合の前年比は昨年第2四半期の12

個人消費動向、パンとコメから想う

・5%から第3・第4四半期ともに12・8%となり、この2月は13・0%でした。

ところで、経済学に「代替財」という概念があります。似た満足を与える二つの財の組み合わせで、コーヒーと紅茶や、バターとマーガリンが例に挙げられます。代替財は、片方の財の価格が相対的に上がると、その財の需要が減り、もう一つの財の需要が増えますが、今のところコメ価格上昇でパンの需要が大きく増えたということはなさそうです。主食としてのコメの地位はやはり不動なのでしょう。

ただそうなる、コメ価格上昇の個人消費への影響が気になるところです。消費活動は全体として緩やかな増加基調にありますが、物価高の影響の強い飲食品・衣料品等では減少傾向が続いています。春闘の状況からは今年も名目賃金の上昇は続き、全体としては消費が底割れするところはないでしょうが、物価と消費の動向は引き続き注意深くウォッチしていきます。